教育施設を整備

教育費は二億六千万円

人口急増地域における過密の最大の課題である義務教育施設の整備など、教育予算として二億六千二百六十二万円を計上しました。

児童数の増加に伴って、ことし四月に住民の協力により第三向陽小学校が開校されましたが、小学校二校の管理と維持に要する経費四千九百六十六万円を計上しました。

向陽小学校では、第二校舎木造平屋建てが老朽化し、雨天体操場ほか三教室を増設して、鉄筋コンクリート造り三階建て九教室の改築工事と、第一校舎西側に鉄筋コンクリート造り二階建ての便所増築工事など、事業費五千九百五十三万円で教育環境の改善を行ないます。

（開校した第四向陽小学校）

また、第三向陽小学校では、昨年度に引き続き継続事業分として鉄筋コンクリート造り三階建て八教室と管理室の建築、昨年度繰越分の三教室とで、打ち工事あわせて八千八百四十八万円をあて、校舎整備を行ないます。

つぎに、組合立中学校においては、乙訓中学校に、新らしく鉄筋コンクリート造り四階建て八教室の増築工事が四千六十万円で、またことし四月から開校した第二乙訓中学校では、開校にともなう備品類に九百七十八万円、体育館建設に二千七百八十六万円と昨年度繰越分六教室工事に二千九百六十八万円が見込まれています。したがって、中学校組合の町負担金として、四千万円を計上しました。

一方、社会教育では、文化的で豊かな生活の向上をはかるため、住民の地域連帯感の養成に努め、公民館活動を推し進めて、各種講座、教室を開催するとともに、スポーツ振興をも行なっていきます。

社会福祉に重点

第二保育所　保育室を増築

児童の健全な育成をはかる施設や、老後の生活を守る老人福祉、また心身障害者対策など、民生事業として一億千八百三十七万円を計上しました。

まず児童福祉では、児童の急増に対処して、ことし四月に開所した第四保育所を加えて、四カ所の町立保育所管理費と私立あひるが丘保育園への委託児童の措置費あわせて八千四百二十九万円をあてました。

なお、昭和四十六年度においても、保育所入所申込者が措置定員を越えますので、とりあえず第二保育所に、三十名定員の保育室の増築工事費二百十三万円を計上しました。

また、昨年十月に発足した児童手当の今年度分三百九万円をはじめ、六か月未満の乳幼児の長時間委託への助成、児童公園の整備などを行ないます。

つぎに、老人福祉では、七十八歳以上の老人（所得制限の範囲内）と六十五歳以上の寝たきり老人に、老人医療の無料化をはかるため三百七十八万円を計上しました。

そのほか、六十五歳以上の老人に対する閉業医委託による健康診査費用の全額町負担、老人クラブへの助成、敬老会の開催、寝たきり老人対策として社会福祉協議会への事業委託による、ホームヘルパー制度の実施など、二百三十一万円を計上しました。

また、乙訓郡三か町による、知恵おくれ児童治療訓練をはじめとする「ポニー学校」を、ことし四月から府立向日が丘養育園内で開校していますが、その運営費として町負担分六十四万円を計上しました。

消防費四千九百万円

消防体制の強化と消防機能の充実のため、消防関係では四千九百五十二万円を計上しました。

消防水利整備五か年計画に基づく第二年次分として、防火水槽の新設、改修、防機器取付けなど、工事費三百十七万円で整備するほか、消火栓の新設など、消防活動を強化します。

（増築が決まった第二保育所）

歳入